

### 令和6年度 防災訓練・防災講演会アンケート結果

	北山田町（実地訓練）	五条町（実地訓練）	山田町（机上訓練）
Q1 訓練の流れは想定していたとおりにでしたか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定通り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合時間のとらえ方が組によってまちまちだったのでバラけてしまった。</li> <li>想定通りで町民の協力の元、上手くいったと感じた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各町と本部の無線交信に於いて、応答返信が分かりにくい。</li> <li>無線を使用しての交流が難しかった。</li> <li>大筋で想定通りだったが、無線は建物内から送信したが、本部に届きづらかったようで、何度も送信する（やり直し）結果となった。→Q5と関連：届いていると理解していたが本部の確認していなかった。</li> </ul>
Q2 今回の訓練に於いて自町の課題は、何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の立ち位置や役割を継承し、組織を如何に機能させるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較的新しく町に入られた方の参加率が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民全員参加が望ましいが、どれだけの参加者になるか読めない。</li> <li>町内への周知をもっと行っていかないとけないと思う。</li> <li>全戸の訓練への参加</li> </ul>
Q3 今回震度6強での被害想定をしていたいただきましたが、他町と比較してあなたの町の被害想定はどう思われましたか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>草津市の被害想定からすれば、明らかにしたまわっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他町と比較して少なくみつもっていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町では実地訓練ではなかったため、比較は難しかったです。同じ内容で行った方がいい。</li> <li>少なかった。</li> </ul>
Q4 今回の学区の訓練についてのご意見を聞かせ下さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>無線機を運用する場合、混信を避けるために、できれば基地局を中心とした送受信体制を構築した方が良いように思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本部への緊急連絡先があればよかった。（トランシーバーのチャンネル変更の意図がよくわからなかった。）</li> <li>無線連絡が分かりにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町からの報告（無線）に本部からの「〇〇町の報告了解しました。」と返答してもらわないと、自分の報告が届いたのかどうか分からない→途中から改善された。（町からの送信が届いていなかったのかも不明）</li> </ul>
Q5 次年度よりの学区の訓練のあり方について、ご意見があればお聞かせ下さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>皆さんから、問題提議をいただくまで、継続して現状の訓練を行うしかない。しかし、学区としては、他町と何を協力しなければいけないのか。また、何が協力できるのか等を考えるべきと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練が始まればトランシーバーの順番の取り合いになってしまうので本部からうながして頂いてもよかったかと思えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>もっと住民に周知して訓練をしたい。</li> <li>3か所の避難所の開設と避難者がどう対応するのかの流れを周知する訓練があってもいいのではと思う。（トイレ配置、ベッド、連絡所等の開設のイメージ化）</li> </ul>
Q6 今回の防災講演会の感想をお聞かせください。			<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃からの生活の中で、防災のための地域の助け合いと事前の備えについて分かり易い講演内容で、話し方も聞き易かった。→パソコン画像を多用され講話の効果が増幅された。</li> </ul>

### 令和6年度 防災訓練・防災講演会アンケート結果

	陽ノ丘団地（実地訓練）	南山田町（実地訓練）	不動浜町（実地訓練）
Q1 訓練の流れは想定していたとおりでしたか？	想定していた通り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安否確認出席者当所51%予想に対して61%参加率で想定していた以上に参加してくれたが、安否不明者を減らす活動を総力あげて活動できる仕組み作りが大切。</li> <li>・想定通りでした。</li> <li>・シミュレーション通りすすんだ。全戸参加目標が84/217軒。安否確認（不明）結果だった。</li> <li>・少し時間はかかりましたが、ますますでした。</li> <li>・訓練としては一応の成果があったのでは。初の試みとしては良く出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の流れであり、いろいろと想定する必要がある。</li> <li>・スムーズに出来た。</li> </ul>
Q2 今回の訓練に於いて自町の課題は、何ですか？	市営住宅、県営住宅、分譲 高齢で参加率が低い。本当に災害が起こった時の対策の話し合いをしていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安否確認初年度で組を細分化したが、集合場所の一部変更、回覧、掲示板と周知徹底したが、文字を大きく、スケジュールを各戸に配布して訓練を年1回では定着化しない。</li> <li>・高齢者、要援護者と本日の不明者への対応について具体的な活動方法</li> <li>・参加協力が少し問題あり。</li> <li>・日中の人がいないう時の対応が心配。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者の救助。</li> <li>・留守宅の安否の確認</li> <li>・町本部の立ち上げがスムーズにできるか</li> </ul>
Q3 今回震度6強での被害想定をしていただきましたが、他町と比較してあなたの町の被害想定はどう思われましたか？		<ul style="list-style-type: none"> <li>・倒壊40戸で全体の18.3%被害で、安否被害者84名とほぼ想定どおりで実際発生してみないとわからないが、もっと増えると思います。</li> <li>・古い家が多く、今回の結果以上に被害が多く発生していると思う。</li> <li>・比較数値が見えないのでわかりません。実際には甘く見積もっていたのではないかと考えます。</li> <li>・想定内であると考えます。</li> <li>・耐震補強の必要性を強く感じた。老朽化したブロック塀なども心配。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湖辺であり、液状化の想定が必要である。</li> <li>・家の被害がもう少し多いのかなー。</li> </ul>
Q4 今回の学区の訓練についてのご意見をお聞かせ下さい。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各町の無線が聞きづらい場があった。山田学区全体の取り組みなので、机上訓練は止め全て実地訓練を行うようにしなければ町ごとにどんとん差が広がる。</li> <li>・コロナもあり、情報共有訓練になったと思うが、マンネリにならないようにと思う。</li> <li>・毎年同様な内容であるが、各町とも役員交代するので引継ぎ不足によりまだまだ周知しきれていないと思います。</li> <li>・同じ内容でも住民参加率を上げる意識付けが必要。</li> <li>・時間の流れが読みにくいと考えますが、なかなかタイムスケジュール通りにはいかないとと思うので、訓練の中で経験を積んでいくしかないと思います。</li> <li>・毎年テーマを設定して、より実効性の高いものにしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年新しい工夫をしてはどうか。</li> <li>・幹線道路の被害状況の報告が大変よかった。</li> </ul>
Q5 次年度よりの学区の訓練のあり方について、ご意見があればお聞かせ下さい。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震発生訓練の始まりをサイレンを鳴らした方がよい。各町の訓練レベルに差があるので、模範となる町を見学してレベルアップを図る。安否確認ビデオ等を見て訓練レベルを向上させる。</li> <li>・訓練を繰り返すことが大切。同じ内容であっても繰り返して身に付くものだと考えます。</li> <li>・簡易タンカの作り方、止血の方法、心臓マッサージ等実践的な知識の習得。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各町の課題を参考にしたい。</li> <li>・報告後の対応までの訓練が必要。</li> </ul>
Q6 今回の防災講演会の感想をお聞かせください。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・無線の伝え方、結論を先に、話し方、情報を伝える方法は勉強になった。初めて聞くインクルーティブ防災。せつかくの講演会なので、開催されたDVDを作成し、防災についての勉強会用DVDとして活用する。</li> <li>・今後の訓練に役に立った。</li> <li>・草津市の現状を知り何が必要か</li> <li>・身近な話題、事例にてわかり易かった。</li> <li>・落ち着いた冷静な判断が出来るよう知識レベルを上げる必要がある。</li> <li>・包み込む防災、相互援助の大切さを学ばせてもらいました。</li> <li>・隣人とのコミュニケーション作りの必要性を強く感じた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な訓練に基づく意見を聞けることはよい。</li> <li>・大変参考になった。</li> </ul>

### 令和6年度 防災訓練・防災講演会アンケート結果

	岡町（実地訓練）	南山田団地（実地訓練）	御倉町（机上訓練）
Q1 訓練の流れは想定していたとおりでしたか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スムーズでした。（住民の多くの協力をいただいた。）</li> <li>・想定通りでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いいえ</li> <li>・初参加だったので、たくさん各町の報告を聞いて、とても参考になることが多かった。</li> <li>・時間がかかった。</li> <li>・まち協本部へ出ていたので、町内会の流れは不明。</li> <li>・ほぼ想定とおりでした。</li> </ul>	
Q2 今回の訓練に於いて自町の課題は、何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被害が出た場合の対処をどうするか。</li> <li>・青、赤のハチマキで安否確認訓練を行いました。（45件/56件、80.3%）</li> <li>・母屋と新屋の数を想定していなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無線の扱い方に慣れていない。</li> <li>・火災、消火や救助の体制づくりだと思った。</li> <li>・高齢者が多いため、被害を想定するのも難しい。</li> <li>・まち協訓練は町内会役員で対応していたこと、但し、2週間前に町内会訓練を実施し、その成果に基づき報告されていた。</li> <li>・被害状況が少なく想定していた。訓練への全戸参加。</li> </ul>	
Q3 今回震度6強での被害想定をしていたいただきましたが、他町と比較してあなたの町の被害想定はどう思われましたか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少なく思いました。</li> <li>・被害想定を軽く見積もっていたと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意外と少なかった。</li> <li>・すこし甘い所があり、想定とは言え、実際の災害をもっとよく認識したいと思った。</li> <li>・少ないと思う。</li> <li>・若干、想定が小さいように思う。</li> <li>・少なかった。</li> </ul>	
Q4 今回の学区の訓練についてのご意見を聞かせて下さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無線のやりとりの必要性を改めて感じました。</li> <li>・初めての経験でしたが、勉強になりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民と本部の間に距離がある。</li> <li>・たびたび慣れるまでやり続けたいと思った。</li> <li>・無線交信に馴れることが必要。</li> <li>・被害状況報告内容の統一（各町によって内容が詳細多岐にわたっていた→一報から順次詳細へ）※行政が求める情報を整合させる。</li> <li>・行政→まち協→各町合同訓練も必要では？</li> <li>・本部と町の連絡はスムーズにいかけてなかった。</li> </ul>	
Q5 次年度よりの学区の訓練のあり方について、ご意見があればお聞かせ下さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所での訓練（取り組み方法等）</li> <li>・他町の訓練の見学はとても参考になると思った。</li> <li>・各町の役員交代によるモチベーション低下を防ぐため、まずは年度初めに本日のような講演会を行ったうえで意識向上を計る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部の方ももっと聞き出そうと努力してほしい。</li> <li>・日頃の積み重ねが大切</li> <li>・シナリオなしの訓練</li> <li>・情報内容の見直し、統一化（一報→順次、詳細内容へ）</li> <li>・無線交信方法の周知</li> <li>・想定外の状況での臨機応変の訓練。災害発生日時での訓練（夜、平日の昼間）</li> </ul>	
Q6 今回の防災講演会の感想をお聞かせください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に対する再確認をしました。</li> <li>・インクルーシブ=つつみこむ一歩踏み込んだ考え方で、より実践的であると同時にプライバシーとの兼ね合いが難しいと感じました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく理解できて、よい講演でした。</li> <li>・災害時の対応に、いろいろなことを知ることができた。助け合いのための多くの支援の事例で説明され分かり易く、今後に役立つこととして活用したいと思った。</li> <li>・自町は高齢者60%以上、老々助け合い。この現状をどのように解決するか？教えてほしい。初参加でした。良く分かりました。</li> <li>・机上の話でなく、実際に現地等に入られた経験からの内容で非常に良かった。</li> <li>・もっと会場を広くし、学区民多数が聴講すると良い。</li> <li>・生命を守る状況を伝えることを優先</li> <li>・否の確認と報告</li> <li>・助けに来てほしい、助けにいけるを伝える。</li> <li>・高齢者、介護必要な家の家具の固定をご近所で行うことは防災力を高め、何度も訓練する以上の効果がある。</li> <li>・地震関連死が多い。避難所のスペースを空ける状況を作る近助が大切。</li> </ul>	

### 令和6年度 防災訓練・防災講演会アンケート結果

	三ツ池町（実地訓練）	新田町	出屋敷町（机上訓練）
Q1 訓練の流れは想定していたとおりにでしたか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想定外。受信が山田まちセンのみ受信だった。情報共有できず、達成感少ない。</li> <li>・町内会内はそれなりに実地訓練でき良かった。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・想定通りです。</li> </ul>
Q2 今回の訓練に於いて自町の課題は、何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年、無線機購入、設定して、町内2台体制としたが…。</li> <li>・訓練において、まちセン本部は明確に受信（出屋敷と出屋敷回地は受信できた）しかし、町内は受信できず。（距離？設定？まちセンの発信アンテナが良いのか？）</li> <li>・無線が届きやすい場所を確認できていなかった。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出屋敷町は自主防災組織はなく、自衛消防隊であり、災害時の役割分担ができていない。被害把握や救助等迅速に行えるか不明。</li> </ul>
Q3 今回震度6強での被害想定をさせていただきましたが、他町と比較してあなたの町の被害想定はどう思われましたか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の通り、他の町内無線を受信できないため、他町との比較ができない。</li> <li>・被害想定を他町と比較して何の意味があるのか？</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他町よりは被害想定は少ないと感じた。</li> </ul>
Q4 今回の学区の訓練についてのご意見をお聞かせ下さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部は各町報告を受けているだけではなく（本部は受けるだけ姿勢）、〇〇町は〇〇の被害、〇〇町は〇〇と全体概要のまとめを発信すべき。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・近藤教授が話されていたとおり無線の訓練で被害報告だけでなく、何の助けを求めているのか伝えるなどした方がよいと思った。</li> </ul>
Q5 次年度よりの学区の訓練のあり方について、ご意見があればお聞かせ下さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告の内容と手順がわかりにくい。各町内の報告者が適当に想定するのでは、おそらく町内ごとにバラバラと思われる。</li> <li>・報告チェックシートをまとめてほしい。（本懐〇件、半壊〇件、ガス漏れ〇件、安否被害〇人、その状態…の表）</li> <li>・今後の課題としては継続できる防災チームの作成を行うことで、防災対策、防災対応のレベルアップは必要かと感じました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防砂無線訓練+α</li> </ul>
Q6 今回の防災講演会の感想をお聞かせください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山田学区は、地区防災のトップランナーと聞き、すばらしい。</li> <li>・えんえむ草津の活動も感心しました。</li> <li>・講演内容もとても分かり易く、ありがとうございました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常にわかりやすく勉強になりました。もっと町内会のメンバーにも聞いてもらいたかったです。</li> </ul>

### 令和6年度 防災訓練・防災講演会アンケート結果

	出屋敷団地（実地訓練）	木川町（机上訓練）
Q1 訓練の流れは想定していたとおりでしたか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各家庭が無事でないか判断する為の、無事ですカードの掲示率が約70%有り。安否確認家庭が30%に絞り込めたのは、想定通りでした。</li> <li>・想定通り</li> <li>・例年と同じ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼ想定していたとおり</li> <li>・無線連絡に時間がかかった。</li> <li>・想定していたとおりにできた。</li> </ul>
Q2 今回の訓練に於いて自町の課題は、何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年以降も無事ですカードの掲示を第一義として取組、無事ですカードの掲示の重要性を理解して頂けるよう啓蒙に進進してまいります。</li> <li>・①道路が狭いこと②高齢者が多い</li> <li>・建物被害の調査項目（調査シート）の未整備、インフラ被害の調査項目（調査シート）の未整備</li> <li>・自分の身は自分で守る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の安否確認の効率化（町内がA～Cの3つに分散しており、全体の把握に時間を要する）、高齢者世帯の確認の工夫（1人世帯も多い）</li> <li>・広範囲の為、まとめるのが困難だった。</li> <li>・町全員の防災意識の向上</li> <li>・1人で避難できない方の把握が出来てなかった。</li> </ul>
Q3 今回震度6強での被害想定をしていただきましたが、他町と比較してあなたの町の被害想定はどう思われましたか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各町の母数がどれくらいなのか？又各町の根拠が解らず評価できません。出屋敷団地としては、被害状況は朝日新聞デジタルから滋賀県の情報を得、母数は滋賀県のホームページから引用し想定しました。</li> <li>・震度6強では対策本部は早急に出来ない</li> <li>・朝日新聞デジタルの被害想定（滋賀県被害想定）母数は、滋賀県ホームページから引用して想定</li> <li>・他町の事は分かりません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少し多い目に想定した。</li> <li>・大きかった。</li> <li>・想定していたとおり。</li> </ul>
Q4 今回の学区の訓練についてのご意見をお聞かせ下さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・去年同様、各町の無線が聞こえませんでした。被害状況は各町に聞こえなくても学区本部に聞こえていれば現状差支えないかと思えます。但し、今後の課題としてまちづくり協議会の宿題事項とします。</li> <li>・今年震度6強の訓練では同じ様な報告が上がる。</li> <li>・無線機応答の時間がかかる。チャンネルを3波に分けて（グループ分け）やれば、1/3の時間で終わる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災無線の効率を上げてはどうか。例えば最初の被害状況の報告に2～3チャンネルを用意してスピードアップするとよいと思う。</li> <li>・各町連絡に混信があり、連絡タイミングが難しい。</li> <li>・無線の混乱、ある町では（自町も）何回も報告されていた。</li> </ul>
Q5 次年度よりの学区の訓練のあり方について、ご意見があればお聞かせ下さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会としても町内会に指示している被害状況調査報告書を独自に想定し報告書の作成をして下さい。各町内会に対してもっと寄り添った書式とか、被害状況調査報告書作成に当たって前段階の調査シートの提案とかできるのではないかと思います。これもまちづくり協議会の宿題事項とします。しっかりリーダーシップを取って下さい。各町に事情があるとかで逃げないでください。</li> <li>・Q4同上、無線機応答の時間がかかる。チャンネルを3波に分けて（グループ分け）やれば、1/3の時間で終わる。</li> <li>・人的、家屋、インフラ毎の具体的な全町共通調査シートを示してほしい。←期待はしないけどね！試案構想中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区の多くの住民が参集する機会を作ってもらえるといいのでは…。1人でも多くの方が参加することが重要だと思うので。</li> <li>・各町の連絡タイミングは…本部から町指名で連絡した方が混信がなくスムーズに行えるのではないかと。</li> <li>・通信の際…始めと終わりに了解との一声があれば確認ができ、スムーズに行えるのではないかと。</li> <li>・無線の通信、被害状況の報告に対して、本部から各町へ確認する方がよいと思った。</li> </ul>
Q6 今回の防災講演会の感想をお聞かせください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の住民による住民のための防災計画を第一に防災活動を推進していく事が大切と感じました。インクルーシブ防災を念頭に地域に貢献したいと感じました。</li> <li>・参考になりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大変わかりやすい、いい話だった。</li> <li>・高齢化に伴う助け合い、基本を改めて認識した。弱者、近所の人とのつながりの重要性など再認識。</li> <li>・実際の情報を見せて頂きながらの説明だったので分かりやすかった。</li> <li>・今まで安否確認といえば安確認を中心に行っていたが、否確認をする重要性を理解した。</li> </ul>